

特定非営利活動法人 海洋音響学会

平成 25 年度（2013 年度）総会資料

通常総会・表彰式・懇親会 創立 40 周年記念式典

月 日 平成 25 年 5 月 27 日（月）
場 所 東京大学生産技術研究所 コンベンションホール

◇第 10 回通常総会（通算第 41 回） (13:00 ~ 13:30)

次第

1. 開会
2. 議事
 - 第 1 号議案 議長の選任
 - 第 2 号議案 平成 24 年度事業報告，収支・監査報告（資料 1～3，別紙 1）
 - 第 3 号議案 平成 25 年度事業計画及び収支予算について（資料 4～5）
 - 第 4 号議案 平成 25，26 年度役員の選任について（資料 6，別紙 5）
 - 第 5 号議案 名誉会員の推薦について（資料 7）
3. 議事録署名人選任
4. 会長挨拶
5. 閉会

◇第 37 回表彰式 (13:30 ~ 13:40)

- ・名誉会員証贈呈
- ・論文賞，業績賞贈呈（別紙 2）
- ・中西賞関連（別紙 3）

◇創立 40 周年記念式典 (13:40 ~ 13:50)

- ・功績賞贈呈（別紙 4）
- ・貢献賛助会員表彰（別紙 4）

◇懇親会 (18:00 ~ 20:00)

平成 24 年度（2012 年度）事業報告（案）

1 全般状況

(1) 会員の状況

| 区 分 | 平成 23 年度末 | 平成 24 年度末 | 備 考 |
|---------|--------------|--------------|--------------------------------------|
| 名 誉 会 員 | 10 名 | 11 名 | 定期購読者： 5 機関（23 年度） 4 機関（24 年度） |
| 終 身 会 員 | 0 名 | 1 名 | |
| 通 常 会 員 | 296 名 | 290 名 | |
| 賛 助 会 員 | 31 社 47 口 | 29 社 45 口 | |

(2) 第 9 回通常総会

平成 24 年 5 月 28 日(月) 13:00～13:30

東京工業大学百年記念館フェライト会議室において出席者 203 名（内、表決委任者 142 名）にて開催した。

・審議事項

- ① 第 1 号議案 議長の選任
- ② 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告，収支・監査報告
- ③ 第 3 号議案 平成 24 年度事業計画及び収支予算について
- ④ 第 4 号議案 名誉会員の推薦について
- ⑤ 第 5 号議案 定款の変更について

・議事の概要及び議決の結果

- ① 第 1 号議案 議長の選任
司会者より，遠藤信行氏の議長選任を諮り，全員異議なくこれを承認した。
- ② 第 2 号議案 平成 23 年度事業報告，収支・監査報告
議長より，平成 23 年度事業報告書及び平成 23 年度収支・監査報告書を配布し，報告したところ，全員異議なくこれを承認した。
- ③ 第 3 号議案 平成 24 年度事業計画及び収支予算について
議長より，平成 24 年度事業計画書案及び収支予算書案を配布し，詳細に審議したところ，満場一致をもって異議なく可決決定した。
- ④ 第 4 号議案 名誉会員の推薦について
議長より，定款第 6 条に基づき海洋音響に関する学問及び技術に関して功績顕著で海洋音響学会の目的達成に多くの貢献のあった 鎌田弘志氏，木村正雄氏，福島正忠氏 を名誉会員としたい旨を諮ったところ，全員異議なくこれを承認した。
- ⑤ 第 5 号議案 定款の変更について
議長より，別紙のとおり主たる事務所の所在に関する定款の変更について審議したところ，全員異議なくこれを承認した。
なお，定款変更認証申請に係る軽微な変更は総務理事に一任することが承認された。

(3) 第 36 回表彰式

総会に引き続き東京工業大学百年記念館フェライト会議室において開催した。

論文賞贈呈

以下について論文賞を贈呈した。

題目 FM感度補正信号とパルス圧縮を併用した水中距離測定法

著者(所属) 千村 大 (千葉工業大学)

陶 良 (千葉工業大学)

本岡 誠一 (千葉工業大学)

掲載誌 海洋音響学会誌, 38(2), 61-71 (2011)

題目 M系列信号を用いた新型超音波バイオテレメトリーシステムの開発

著者(所属) 宮本 佳則 (東京海洋大学)

内田 圭一 (東京海洋大学)

高尾 芳三 (独立行政法人 水産総合研究センター)

笹倉 豊喜 (フュージョン 株式会社)

掲載誌 海洋音響学会誌, 38(3), 119-127 (2011)

業績賞贈呈

以下について業績賞を贈呈した。

件名 高能率小型計量魚探機および潮流計の開発

(推薦に関わる仕事をした期間: 2006年-2011年)

担当者(所属) 鶴澤 孝夫 (株式会社 ソニック)

佐藤 貴裕 (株式会社 ソニック)

倉都 健治 (株式会社 ソニック)

小山 謙一 (株式会社 ソニック)

中西賞贈呈(伝達)

以下について中西賞を贈呈した。

論文名 中性浮力曳航体に搭載した合成開口ソナーによる海域実用試験

著者(所属) 澤 隆雄 (独立行政法人 海洋研究開発機構)

笠谷 貴史 (独立行政法人 海洋研究開発機構)

八木原 寛 (鹿児島大学)

掲載誌 海洋音響学会 2011年度研究発表会講演論文集, 77-78 (2011)

(4) 理事会

平成24年度中4回開催し、会の活動と経理の状況を把握しつつ随時所要の対策を講ずるほか総会の決定に従い本会運営の基本に関する事項を審議決定し、各委員会との連絡を密にして事業円滑化を図った。

(5) 執行理事会

理事会を補佐し、本学会の全体運営に関わる業務について効率的かつ十分な審議と迅速な執行を目的とし、年度中8回開催し、規程類の変更・制定、総務、会計に関する審議を行った。

2 事業の概況

事業内容は資料2「事業報告書」による。なお、詳細は別紙1による。

書式第 9 号

平成 24 年度 事業報告書 (案)

平成 24 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業の成果

平成 24 年度は、特定非営利活動法人として次の事業を行った。

- 第 1. 海洋音響に関する学術調査研究事業として、「防災音響研究部会」を開催した。
- 第 2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業として、研究発表会の開催、会誌の発行と、シンポジウム、談話会、講演会、技術講習会を開催したほか、「ソナーを利用した海洋生物の資源調査方法研究部会報告書」を発行するとともにホームページを活用し情報の提供を行った。
- 第 3. 海洋音響に関する奨励事業として、前年度の優秀論文、優秀業績に対し表彰したほか優秀論文、優秀業績の表彰候補選考を行うと共に、中西賞の表彰推薦候補選考を行った。
- 第 4. 海洋音響に関する企画交流促進事業として、企画運営委員会を開催したほか、日本海洋工学会等と交流した。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 | 支出額(千円) |
|----------|------------------------------------|---|-----------------------------|--------|-----------------------|---------|
| 学術調査研究事業 | 「防災音響研究部会」を 1 回開催した。 | 9 月 20 日 | 神奈川県横須賀市 | 20 人 | 海洋音響に関心のある者 35 人 | 88 |
| 普及啓蒙事業 | 会誌 146、147、148、149 号を発行した。 | 4 月 1 日 7 月 1 日 10 月 1 日 1 月 1 日 | 法人事務所 | 18 人 | 海洋音響に関心のある者 約 450 人 | 2,893 |
| 普及啓蒙事業 | 「ソナーを利用した海洋生物の資源調査方法研究部会報告書」を出版した。 | 9 月 21 日 | 法人事務所 | 20 人 | 海洋音響に関心のある者 約 450 人 | 525 |
| 普及啓蒙事業 | 研究発表会を開催した。 | 5 月 28 日 ～29 日 | 東京都目黒区 | 20 人 | 海洋音響に関心のある者 約 250 人 | 910 |
| 普及啓蒙事業 | 国際化を目指し外国人講師を招き講演会を 3 回開催した。 | 7 月 20 日 10 月 19 日 3 月 8 日 | 東京都目黒区港区 | 10 人 | 海洋音響に関心のある者 約 60 人 | 560 |
| 普及啓蒙事業 | シンポジウムを 2 回開催した。 | 9 月 21 日 2 月 27 日 | 東京都目黒区港区 | 10 人 | 海洋音響に関心のある者 約 100 人 | 336 |
| 普及啓蒙事業 | 談話会を 3 回開催した。 | 6 月 12 日 8 月 27 日 28 日 3 月 21 日 | 東京都目黒区港区 Busan, Korea | 10 人 | 海洋音響に関心のある者 延べ約 150 人 | 328 |

| | | | | | | |
|--------------|---|---|------------|-----|--------------------------|-----|
| 普及啓蒙事業 | 「バイオ音響の展望」をテーマにして技術講習会を開催した。 | 12月11日 ～12日 | 東京都 目黒区 | 10人 | 海洋音響に 関心のある者 約30人 | 501 |
| 普及啓蒙事業 | ホームページ運用を通じて活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供した。ホームページを効率的に運営する活動を行なった。 | 随時 | 法人 事務所 | 8人 | 一般市民 不特定多数 | 398 |
| 奨励事業 | 海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰した。次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催した。 | 5月28日 (表彰) 11月21日 2月12日 3月4日 (委員会) | 東京都 目黒区 | 12人 | 海洋音響の 研究者 16人・団体 | 467 |
| 企画交流促進 事業 | 企画運営委員会を4回開催すると共に、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行った。 | 4月26日 7月2日 12月3日 2月1日 | 東京都 目黒区 | 25人 | 海洋音響に関 心のある者 不特定多数 | 372 |
| 企画交流促進 事業 | 学会の40周年における記念事業の検討を行った。 | 11月21日 2月12日 3月4日 | 東京都 目黒区 | 12人 | 海洋音響に 関心のある者 不特定多数 | 0 |

書式第 12 号 (法第 28 条関係)

平成 24 年度特定非営利活動に係る事業会計収支計算書

平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|--------------------------|-----------|------------|
| I 収入の部 | | |
| 1 会費収入 | | 9,744,000 |
| 2 事業収入 | | |
| (1) 学術調査研究事業収入 | 0 | |
| (2) 普及啓蒙事業収入 | 517,200 | |
| (3) 奨励事業収入 | 0 | |
| (4) 企画交流促進事業収入 | 0 | 517,200 |
| 3 補助金収入 | | 0 |
| 4 寄附金収入 | | 0 |
| 5 その他収入 | | |
| 雑収入 | 145,848 | 145,848 |
| 当期収入合計 (A) | | 10,407,048 |
| 収 入 合 計 (A) | | 10,407,048 |
| II 支出の部 | | |
| 1 事業費 | | |
| (1) 学術調査研究事業費 | 88,500 | |
| (2) 普及啓蒙事業費 | 6,450,818 | |
| (3) 奨励事業費 | 467,210 | |
| (4) 企画交流促進事業費 | 371,963 | 7,378,464 |
| 2 管理費 | | |
| 事務委託費 | 2,440,101 | |
| 旅費 | 428,150 | |
| 通信運搬費 | 148,904 | |
| 印刷製本費 | 69,950 | |
| 会議費 | 263,885 | |
| 消耗品費 | 70,382 | |
| 雑費 | 47,113 | 3,468,485 |
| 当期支出合計 (B) | | 10,846,949 |
| 当期収支差額 (A) - (B) | | △439,901 |
| 前期繰越収支差額 (C) | | 17,437,670 |
| 次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C) | | 16,997,769 |

平成 24 年度特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成 25 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|------------|------------|-------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金預金 | 10,861,062 | |
| 流動資産合計 | | 10,861,062 |
| 2 固定資産 | | |
| 基本財産 | 6,530,709 | |
| 固定資産合計 | | 6,530,709 |
| 資 産 合 計 | | 17,391,771 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払費用 | 388,002 | |
| 前受会費 | 6,000 | |
| 預り金 | 0 | |
| 流動負債合計 | | 394,002 |
| 2 固定負債 | | |
| 固定負債合計 | | 0 |
| 負 債 合 計 | | 394,002 |
| III 正味財産の部 | | |
| 前期繰越正味財産 | | 17,437,670 |
| 当期正味財産増加額 | | △439,901 |
| 正味財産合計 | | 16,997,769 |
| (うち基本財産) | | (6,530,709) |
| 負債及び正味財産合計 | | 17,391,771 |

平成 24 年度特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成 25 年 3 月 31 日現在

特定非営利活動法人 海洋音響学会

(単位：円)

| 科 目 | 金 額 | |
|-------------------------|-----------|---------------------------|
| I 資産の部 | | |
| 1 流動資産 | | |
| 現金預金 | | |
| 学会手許金 | 48,557 | |
| 普通預金 (みずほ銀行高田馬場支店) | 9,001,329 | |
| 普通預金 (みずほ銀行高田馬場支店・事務局) | 228,116 | |
| 郵便振替 (ゆうちょ銀行高田馬場支店) | 1,583,060 | |
| 流動資産合計 | | 10,861,062 |
| 2 固定資産 | | |
| 基本財産 | | |
| 定期預金 (三菱 UFJ 信託銀行本店営業部) | 6,530,709 | |
| 固定資産合計 | | 6,530,709 |
| 資 産 合 計 | | 17,391,771 |
| II 負債の部 | | |
| 1 流動負債 | | |
| 未払費用/業務委託費等未払分 | 388,002 | |
| 前受会費/平成 25 年度会費 | 6,000 | |
| 流動負債合計 | | 394,002 |
| 2 固定負債 | | |
| 固定負債合計 | | 0 |
| 負 債 合 計 | | 394,002 |
| III 正味財産の部 | | |
| 繰越正味財産 (うち基本財産) | | 16,997,769 (6,530,709) |

監査の結果、重要な点において適正に表示しているものと認める。

平成 25 年 4 月 9 日

監事 深見 明久 印

監事 堀井 浩 印

平成 24 年度正味財産 16,997,769 円は全額次年度に繰越すこととする。

収支計算書類に対する注記

1. 資金の範囲について

資金の範囲は現金預金、基本財産、未払費用、前受会費、預り金である。

なお、前期末及び当期末残高は下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期末残高 |
|----------|------------|------------|
| 現金預金 | 10,930,033 | 10,861,062 |
| 基本財産 | 6,529,137 | 6,530,709 |
| 合 計 | 17,459,170 | 17,391,771 |
| 未払費用 | 0 | 388,002 |
| 前受会費 | 18,000 | 6,000 |
| 預り金 | 3,500 | 0 |
| 合 計 | 21,500 | 394,002 |
| 次期繰越収支差額 | 17,437,670 | 16,997,769 |

平成25年度 事業計画書(案)

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

1 事業実施の方針

平成25年度は、長期的展望に立って、海洋音響及びこれに関連のある諸科学の一層の振興を図るために、次の方針にしたがって活動する。

- 第1. 海洋音響に関する学術調査研究事業を行う。
- 第2. 海洋音響に関する普及啓蒙事業を行う。
- 第3. 海洋音響に関する研究開発の奨励事業を行う。
- 第4. 海洋音響に関する企画交流促進事業を行う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 事業名 | 事業内容 | 実施予定日 | 実施予定場所 | 従事者の予定人数 | 受益対象者の範囲及び予定人数 | 支出見込み額(千円) |
|----------|---|-----------------------------|-----------------|----------|------------------------|------------|
| 学術調査研究事業 | 「防災音響研究部会」を開催する。 | 6月 | 東京都目黒区 | 15人 | 海洋音響に関心のある者 35人 | 150 |
| 学術調査研究事業 | 「広帯域海洋音響探査技術部会」を開催する。 | 6月 10月 2月 | 東京都目黒区 | 10人 | 海洋音響に関心のある者 約15人 | 150 |
| 普及啓蒙事業 | 会誌を定期発行する。 | 4月, 7月 10月, 1月 | 法人事務所 | 20人 | 海洋音響に関心のある者 約450人 | 4,400 |
| 普及啓蒙事業 | 「防災音響研究部会報告書」を出版する。 | 9月 | 法人事務所 | 20人 | 海洋音響に関心のある者 約450人 | 600 |
| 普及啓蒙事業 | 研究発表会を開催する。 | 5月 | 東京都目黒区 | 20人 | 海洋音響に関心のある者 約250人 | 1,100 |
| 普及啓蒙事業 | 国際化を目指し外国人講師を招き講演会を開催する。 | 11月 | 東京都目黒区 | 10人 | 海洋音響に関心のある者 約50人 | 200 |
| 普及啓蒙事業 | シンポジウムを年3回程度、談話会を年3回程度開催する。 | 5月, 6月 9月, 10月 2月, 3月 | 東京都目黒区 | 10人 | 海洋音響に関心のある者 延べ約200人 | 700 |
| 普及啓蒙事業 | 技術講習会を開催する。 | 12月 | 東京都目黒区 | 10人 | 海洋音響に関心のある者 約50人 | 550 |
| 普及啓蒙事業 | ホームページを開設し、活動内容を紹介し、海洋音響に関する情報を提供する。 ホームページを効率的に運営するための委員会を開催する。 | 随時 11月 (委員会) | 法人事務所 東京都目黒区 | 8人 | 一般市民 不特定多数 | 400 |

| | | | | | | |
|----------|---|------------------|---------------------------------------|-----|--------------------------|-----|
| 奨励事業 | 海洋音響に関する優れた研究開発成果を表彰する。次年度に海洋音響に関する研究開発の奨励、優れた研究開発成果を表彰するための委員会を開催する。 | 表彰:5月 委員会:随時 | 東京都 目黒区 | 12人 | 海洋音響の 研究者 若干名 | 800 |
| 企画交流促進事業 | 事業の企画会議の開催並びに、国際化に関する検討、日本海洋工学会等関連団体との交流、行事の共催を行う。 | 随時 | 東京都 目黒区 | 20人 | 海洋音響に 関心のある者 不特定多数 | 500 |
| 企画交流促進事業 | 学会の創立40周年記念式典を行なう。 学会の創立40周年における記念事業を行なう。会勢拡大のため平成25年度通常会員新入会の平成25年度の会費を半額とする。 | 5月 11月 11月 | 東京都 目黒区 京都府 上京区 東京都 港区 | 10人 | 海洋音響に 関心のある者 不特定多数 | 950 |

書式第8号（法第10条関係）収支予算書

平成25年度特定非営利活動に係る事業会計収支予算書（案）

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

特定非営利活動法人 海洋音響学会

（単位：円）

| 科 目 | 金 額 | |
|--------------------------|-----------|------------|
| I 収入の部 | | |
| 1 会費収入 | | 9,774,000 |
| 2 事業収入 | | |
| (1) 学術調査研究事業収入 | 0 | |
| (2) 普及啓蒙事業収入 | 650,000 | |
| (3) 奨励事業収入 | 0 | |
| (4) 企画交流促進事業収入 | 0 | 650,000 |
| 3 補助金等収入 | | 0 |
| 4 寄附金収入 | | 0 |
| 5 その他収入 | | 90,000 |
| 当期収入合計 (A) | | 10,514,000 |
| 収入合計 (A) | | 10,514,000 |
| II 支出の部 | | |
| 1 事業費 | | |
| (1) 学術調査研究事業費 | 300,000 | |
| (2) 普及啓蒙事業費 | 7,950,000 | |
| (3) 奨励事業費 | 800,000 | |
| (4) 企画交流促進事業費 | 950,000 | 10,000,000 |
| 2 管理費 | | |
| 事務委託費 | 2,530,000 | |
| 旅費 | 350,000 | |
| 通信運搬費 | 200,000 | |
| 印刷製本費 | 150,000 | |
| 会議費 | 300,000 | |
| 消耗品費 | 60,000 | |
| 雑費 | 40,000 | 3,630,000 |
| 当期支出合計 (B) | | 13,630,000 |
| 当期収支差額 (A) - (B) | | △3,116,000 |
| 前期繰越収支差額 (C) | | 16,997,769 |
| 次期繰越収支差額 (A) - (B) + (C) | | 13,881,769 |

平成 25, 26 年度 (2013, 2014 年度) 役員を選任について

1. 平成 25, 26 年度理事 (案)

理 事 (20 名)

| | |
|-------|-------|
| 赤松 友成 | 土屋 健伸 |
| 浅田 昭 | 中村 敏明 |
| 飯田 浩二 | 南利 光彦 |
| 遠藤 信行 | 蜂屋 弘之 |
| 小河 慎二 | 浜 芳典 |
| 越智 寛 | 水野 鉄臣 |
| 川崎 良道 | 森 和義 |
| 澤田 浩一 | 吉江 宗生 |
| 澤田 信一 | 吉武 宣之 |
| 新家 富雄 | 渡辺 好章 |

2. 平成 25, 26 年度会長および副会長 (選挙結果報告)

| | |
|-----|-------|
| 会 長 | 遠藤 信行 |
| 副会長 | 浅田 昭 |
| | 蜂屋 弘之 |

3. 平成 25, 26 年度監事 (案)

| | |
|----|-------|
| 監事 | 後藤 英親 |
| | 深見 明久 |

名誉会員の推薦について

海洋音響技術および海洋音響学会の発展に功績のあった下記の者を名誉会員とする。

| |
|-------|
| 石原 豊彦 |
| 片倉 景義 |

平成 24 年度(2012 年度)事業内容

○ 研究発表会

(5/28, 29 東京工業大学 百年記念館フェライト会議室)

特別講演 海洋微細構造の観測とプランクトンの動態について

山崎秀勝 (東京海洋大)

一般講演 31 件

優秀論文発表賞の贈呈：

ア. 講演の部

題 目 計量魚群探知機を用いたガラモ場の現存量推定

発表者 南 憲史 (京都大)

題 目 コウモリの野外での獲物探索時におけるソナー行動戦略 - マイクロホン
アレイシステムを用いたパルス放射方向と音響特性の分析 -

発表者 渡邊翔太郎 (同志社大)

イ. ポスターの部

題 目 3D イメージングソナー用球状音響レンズの検討

発表者 高野慎太 (日立製作所中央研究所)

○ 講演会

第 1 回 (7/20 東京工業大学 百年記念館フェライト会議室)

演 題 AMOORED MULTIPLE-FREQUENCY SONAR FOR LONG-TERM
CONTINUOUS OBSERVATIONS OF ZOOPLANKTON AND FISH

(動物プランクトン及び魚の長期連続観測のための係留型多周波数ソナー)

講演者 David D. Lemon, M.Sc.

(米国 ASL Environmental Sciences Inc.)

第 2 回 (10/19 東京海洋大学多目的国際研修室)

演 題 Acoustical insights into deep-water habitats, fisheries and ecosystems

(深海の生息環境, 漁場, 生態系への音響的な知見)

講演者 Dr Rudy Kloser

(豪州 CSIRO Marine Laboratories)

第 3 回 (3/8 東京大学生産技術研究所 AS 棟 3F 中セミナー室)

演題及び講演者：

1. WaterSide Security: The abatement of criminality at sea

Leif Bjorno

(デンマーク Professor and Chairman of the Board of Directors. Owner,
UltraTech Holding)

2. Seeing with noise — an overview of underwater ambient noise imaging

Mandar Chitre

(シンガポール Head of Acoustic Research Laboratory at Tropical Marine
Science Institute /Assistant Professor at Department of Electrical &
Computer Engineering, National University of Singapore)

○ 談話会

第 1 回 (6/12 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール)

「音響計測における感度補正送信信号を用いた受信信号の広帯域化」

千村 大 (千葉工大)

- 「新型超音波バイオテレメトリーシステムの開発」 宮本佳則 (東京海洋大)
「小型計量魚群探知機とドップラー潮流計の開発」 鶴澤孝夫 (ソニック)
「大深度用ビークルとソーナーによる海底資源探査」 澤 隆雄 (海洋研究開発機構)

第2回 (8/27, 28 Daeyeon Campus, Pukyong National Univ., Busan, Korea)

電子情報通信学会超音波研究会, 日本音響学会超音波研究会, 韓国音響学会, IEEE UFFC Society Japan Chapter, Youngnam Chapter of the Acoustical Society of Korea, The Institute of Acoustics and Vibration Engineering Pukyong National Univ. と共催

- 「Focal range control of focused ultrasonic field by curvature changing of transducer」
Jungsoon Kim (Dept. of Media Eng., Tongmyong Univ.), Moojoon Kim, Kanglyeol Ha (Dept. of Phys., Pukyong National Univ.)
- 「Dependence of ultrasonic frequency on glass scribing」
Chanshin Kang, Seho Kwon, Hojin Park, Younghan. Kim (Korea Sci. Acad. of KAIST), Jung-Hoon Moon (Suwon Sci. College), Shin Wook Kim (MJ Tech Inc.)
- 「Sonoluminescence and bubble dynamics in viscous liquids」
Pak-Kon Choi, Takaaki Yamada, Yuuta Takeuchi (Dep. of phys., Meiji Univ.)
- 「Characteristics of Machining time of Brittle Material」
Takuya Asami, Hikaru Miura (Nihon Univ.)
- 「Airborne Ultrasound CW-and Pulsed-Doppler Systems for Biomedical」
Yasuhito Takeuchi
- 「Determination Method of Acoustical Physical Constants and Their Temperature Coefficients of La₃TaO₇.5Ga₂O₃.2Al₂O₃.2014 Single Crystal」
Yuji Ohashi (Tohoku Univ.), Tomoaki Karaki (Toyama Pref. Univ.), Hitoshi Yoshida (Tohoku Univ.), Tao Lv (Toyama Pref. Univ.), Mototaka Arakawa (Tohoku Univ.), Masatoshi Adachi (Toyama Pref. Univ.), Jun-ichi Kushibiki (Tohoku Univ.)
- 「3D-Simulation for temperature rise in tissue mimicking phantom with bone」
Nobuyuki Endoh, Takenobu Tsuchiya, Yu Sakuma, Shin Tanaka (Kanagawa Univ.)
- 「The influence of bonding layer on the characteristics of piezoelectric polymer transducer」
Yonggang Cao, Moojoon Kim, Kang-Lyeol Ha (Pukyong National Univ.), Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)
- 「Growth of ZnO Nanostructured Materials using Cylindrical Piezoelectric Vibrator」
Choonghwa Lee, Moojoon Kim, Kang-Lyeol Ha (Pukyong National Univ.), Jungsoon Kim (Tongmyong Univ.)
- 「Estimation of stability of acoustic reciprocal transmission in deep and coastal waters」
Hiroyuki Hachiya (Tokyo Inst. of Tech.)
- 「Consideration about acoustic measuring method of bended steel pile under the ground in the earthquake」
Sayuri Matsumoto, Toshinari Tanaka, Taketsugu Hirabayashi, Muneo Yoshie, Kageyoshi Katakura, Yoshiaki Kikuchi, Hideki Takahashi (Port and Airport Research Inst.)
- 「Development of 4-D underwater acoustic imaging system」
Sayuri Matsumoto, Kageyoshi Katakura, Mitsuhiro Nanri, Norihide Takeyama, Takenobu Tsuchiya, Nobuyuki Endoh, Takatoshi Noguchi (Port and Airport Research Inst.)
- 「Development of Non-contact Thickness Gauging Equipment for Underwater Steel Structure」
Kazuhiro Shirai (Port and Airport Research Inst.)
- 「Performance of Orthogonal Frequency Division Multiplexing in Highly Reverberant Water Tank」
Woo Yang, Chulwon Seo, Jihyun Park, Kyu-chil Park, Jong Rak Yoon (Dept. of

- Information and Communication Engr.)
- 「Measure of Effectiveness Analysis for Tracking based on Detection in SORNAR system」
Jung-Hong Cho, Jea Soo Kim (Korea Maritime Univ.), Seongil Kim (Agency for Defence Develop.)
- 「Optimization of 1-3 Piezocomposite Material Structures for Underwater Acoustic Transducers」
Jinwook Kim, Seonghun Pyo, Yongrae Roh (Kyungpook National Univ.)
- 「Bearing Error Estimation of in Inhomogeneous Ocean Applying the Three-Dimensional BELLHOP Propagation Model」
Michael Porter, Jungsoo Park, Jooyoung Han (HLS Research Inc.), Young-Nam Na (Agency for Defence Develop.)
- 「A method of calculating time-varying characteristics based on sparse channel estimation for underwater acoustic communications」
Hyeonsu Kim, Jongpol seo, Gunwoo Park (Inha Univ.), Seongil Kim (Agency for Defence Develop.), Jaehak Chung (Inha Univ.)
- 「Ultrasonic 2D Matrix Array Transducer for Volumetric Imaging in Real Time」
Yongrae Roh (Kyungpook National Univ.)
- 「Sound Detection Monitoring in the Transformer Oil Using by Fiber Sagnac Loop」
Jongkil Lee (Andong National Univ.)
- 「Fiber-Optic Ultrasonic Hydrophone Using Short Fabry-Perot Cavity with Multilayer Reflectors」
Kyung-Su Kim, Yosuke Mizuno, Kentaro Nakamura (Tokyo Inst. of Tech.)
- 「Hollow cylindrical titanium pipe cavitation sensor using hydrothermal synthesized lead zirconate titanate poly-crystalline film as piezoelectric element」
Shinichi Takeuchi, Michihisa Shiiba, Yuki Umemura (Toin Univ. of Yokohama), Takeuchi Uchida, Tsuneo Kikuchi (AIST), Minoru Kurosawa (Tokyo Inst. of Tech.)
- 「Target strength pattern Measurement of juvenile chum salmon (Oncorhynchus keta) in a tank by the controlled method」
Kouichi Sawada, Tomohiko Matsuura, Hideaki Aono, Akihiko Hashiba (FRA)
- 「Simulation of Source Localization using Time Reversal Mirror in Shallow Water」
Bok Kyoung Choi, Byoung-Nam Kim, Seong Hyeon Kim, Bong-Chae Kim (Korea Inst. of Ocean Sci. and Tech.)
- 「SVM based Classification Algorithm for Transient Signals under Ocean Background Noise」
Juho Kim, Tae-Hoon Bok, Jinho Bae, Dong-Guk Paeng, Chong Hyun Lee (Jeju National Univ.), Seongil Kim (Agency for Defence Develop.)
- 「ROK-US Joint Acoustic Experiment at the East China Sea」
Seongil Kim (Agency for Defence Develop.)

第3回 (3/21 東京海洋大学 多目的交流研修室)

主 題 最近の海外研究動向

講演内容及び講演者:

「Computer Assisted Radiology and Surgery (CARS2012)報告及び The Acoustics 2012 Hong Kong (医療超音波関係) 報告」

山口 匡 (千葉大)

「第6回アジア水産音響学会 (AFAS2012) 報告」

今泉智人 (水産総合研究センター)

「The Acoustics 2012 Hong Kong (水産音響関係) 報告」

松裏知彦 (水産総合研究センター)

「超音波研究会 (釜山) 報告」

澤田浩一 (水産総合研究センター)

○ シンポジウム

第1回 (9/21 東京海洋大学 多目的交流研修室)

主 題 ソナーを利用した海洋生物の資源調査方法研究部会 報告

| | |
|------------------------------|---------------|
| 「ソナーを利用した海洋生物の資源調査方法研究部会の概要」 | 澤田浩一（水産工学研究所） |
| 「漁業用ソナーの原理と特徴」 | 福島保夫（日本無線） |
| 「漁業用ソナーの使用方法」 | 鉛 進（フュージョン） |
| 「水産資源調査におけるソナーの利用」 | 安部幸樹（水産工学研究所） |
| 「ソナーによる計量の原理と方式」 | 古澤昌彦（東京海洋大） |
| 「ソナーの計量化に必要なターゲットストレングス」 | 向井 徹（北海道大） |
| 「最新のソナーを用いた生物資源調査例」 | 飯田浩二（北海道大） |
| 「今後の展望」 | 甘糟和男（東京海洋大） |
| 「まとめ・総合討論」 | 澤田浩一（水産工学研究所） |

第2回（2/27 東京工業大学 蔵前会館ロイヤルブルーホール）

主 題 2012年度水中防衛技術学会（UDT等）報告

| | |
|------------|-------------|
| 「総括報告」 | 唐木 繁（石川製作所） |
| 「対潜戦とソナー」 | 川崎良道（沖電気工業） |
| 「湾岸防備とソナー」 | 南利光彦（日立製作所） |

○ 技術講習会

第22回講習会（12/11, 12 東京工業大学 蔵前会館 手島精一記念会議室）

主題 バイオ音響の展望

| | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 「受動的音響技術による海洋生物の観測」 | 赤松友成（水産総合研究センター） |
| 「水産音響機器の発展と展望」 | 鉛 進（フュージョン） |
| 「超音波バイオテレメトリーについて」 | 宮本佳則（東京海洋大） |
| 「生物による超音波利用技術ーバイオソナー研究の今とこれからの展望ー」 | 飛龍志津子（同志社大） |
| 「まとめ」 | 太田和彦（防衛省），鎌倉友男（電気通信大） |

○ 部 会

・防災音響研究部会

第1回 防災音響研究部会講演会（9/20 海洋研究開発機構 夏島本部会議室）

- ・ 施設見学
- ・ 話題提供
 - 「無人潜水機と合成開口ソナーによる海底調査」 澤隆雄（海洋研究開発機構）
 - 「震災後に実施された音響機器を用いた海底調査」 笠谷貴史（海洋研究開発機構）
- ・ 意見交換
- ・ その他

○ 日本海洋工学会

- ・ 理事会 2回（第23回 10/5, 第24回1/21 日本大駿河台キャンパス）
- ・ 運営委員会 5回（第149回 5/11, 第150回 10/5, 第151回 11/30, 第152回 1/21, 第153回 3/15 日本大駿河台キャンパス）
- ・ 海洋工学パネル 1回（第43回 1/29 日本大駿河台キャンパス）
- ・ 海洋工学シンポジウム（第23回 8/2, 3 日本大駿河台キャンパス）

○ 委員会

- ・ 企画運営委員会 4回（4/26, 7/2 東大生研, 12/3, 2/1 東工大）
- ・ 表彰委員会 3回（11/21 東大生研, 2/12, 3/4 東工大）
- ・ 編集委員会 8回（4/13, 6/8 東京海洋大, 7/18 東工大, 9/7, 10/26, 12/7, 1/22 東京海洋大, 3/8 東工大）

平成 25 年度（2013 年度）表彰一覧表

○論文賞

- ・ 題目 Section and Total Scattering Strengths of Individual Fish Schools
- ・ 著者（所属） 古澤 昌彦 （東京海洋大学）
- ・ 掲載誌 海洋音響学会誌, 38(4), 177-194 (2011)

○業績賞

- ・ 件名 (PVDF)高分子圧電体を用いたハイドロホンの開発
(推薦に関わる仕事をした期間: 2010 年-2011 年)
- ・ 担当者（所属） 石前 浩蔵 （ジェイ・アール・シー特機株式会社）
片山 峰宏 （ジェイ・アール・シー特機株式会社）

○中西賞

- ・ 論文名 3D イメージングソナー用球状音響レンズの検討
- ・ 著者（所属） 高野 慎太 （株式会社日立製作所）
橋場 邦夫 （株式会社日立製作所）
池田 貞一郎 （株式会社日立製作所）
佐藤 慎祐 （株式会社日立製作所）
加藤 健太郎 （株式会社日立製作所）
南利 光彦 （株式会社日立製作所）
- ・ 掲載誌 海洋音響学会 2012 年度研究発表会講演論文集, 31-32(2012)

○創立 40 周年記念功績賞

多年に亘り、本学会の活動および運営に多大な貢献をし、我が国の海洋音響技術の発展に大きな功績を挙げた下記の者

三上 宏幸

○創立 40 周年記念貢献賛助会員表彰

多年に亘り、賛助会員として本学会の活動および運営に積極的に参画し、学会の発展に大きく貢献した下記の賛助会員

NEC トーキン株式会社

株式会社ソニック

川崎重工業株式会社

三井造船株式会社

平成25, 26年度 (2013, 2014年度) の評議員

通常会員の評議員 (49 名) (選挙結果報告)

| | | |
|--------|-------|--------|
| 赤松 友成 | 浅田 昭 | 甘糟 和男 |
| 飯田 浩二 | 石原 豊彦 | 石前 浩蔵 |
| 梅津 功 | 遠藤 信行 | 尾崎 俊二 |
| 越智 寛 | 片倉 景義 | 加藤 健太郎 |
| 鎌倉 友男 | 菊池 恒男 | 倉本 和興 |
| 笹倉 豊喜 | 佐藤 隆一 | 澤 隆雄 |
| 澤田 浩一 | 志村 拓也 | 新家 富雄 |
| 田中 正吉 | 土屋 健伸 | 土屋 利雄 |
| 陶 良 | 長澤 修宏 | 中村 敏明 |
| 中村 義行 | 長屋 好治 | 西森 靖 |
| 野村 英之 | 蜂屋 弘之 | 深見 明久 |
| 藤本 治 | 堀井 浩 | 松本 さゆり |
| 水谷 孝一 | 水野 鉄臣 | 宮野鼻 洋一 |
| 宮本 佳則 | 向井 徹 | 武捨 貴昭 |
| 村上 泰 | 森 和義 | 森下 到 |
| 矢吹 哲一朗 | 山口 功 | 吉武 宣之 |
| 渡辺 好章 | | |

賛助会員の評議員（29社、括弧内は本会に対する代表者）

| | |
|--------------------|----------|
| (株) I H I | (澤田 信一) |
| (株) エス・イー・エイ | (田中 照喜) |
| (株) S G K システム技研 | (福地 鉄雄) |
| NEC トーキン(株) | (氏家 秀典) |
| NEC ネットワーク・センサ(株) | (伊大知 昇) |
| (株) オキシテック | (竹越 哲郎) |
| 沖電気工業(株) | (川崎 良道) |
| 海洋電子工業(株) | (甲田 聡) |
| 川崎重工業(株) | (横山 真也) |
| (株) K D D I 研究所 | (小島 淳一) |
| (独) 港湾空港技術研究所 | (吉江 宗生) |
| 三波工業(株) | (山川 忠明) |
| ジェイ・アール・シー特機(株) | (山口 幸雄) |
| 静岡沖電気(株) | (三角 典子) |
| (株) ジャパン マリンユナイテッド | (中尾 誠二) |
| (株) ソニック | (佐藤 貴裕) |
| (株) 東陽テクニカ | (半谷 和祐) |
| 日本アビオニクス(株) | (田中 毅) |
| 日本海洋事業(株) | (加藤 美志彦) |
| 日本電気(株) | (浜 芳典) |
| 日本電気航空宇宙システム(株) | (河合 高男) |
| 日本無線(株) | (福島 保夫) |
| (株) 日立製作所 | (南利 光彦) |
| 古野電気(株) | (小河 慎二) |
| 三井造船(株) | (西田 泰憲) |
| 三菱重工業(株) | (三木 一剛) |
| 三菱プレシジョン(株) | (布田 浩二) |
| ユニバーサル特機(株) | (飯田 隆) |
| 横浜ゴム(株) | (長尾 亨) |